

令和 6 年度 第 3 回 九十九里町地域公共交通会議 顛末書

1. 日時 令和 6 年 11 月 8 日(金) 午前 10 時 00 分～
2. 場所 地域福祉センター（九十九里町役場敷地内） 会議室
3. 出席者 別紙委員名簿のとおり
4. 会議の議事
 - （1） 会長・副会長の選任について
 - （2） タクシー利用助成の他地区への適用について
 - （3） 通学バス利用の促進について
 - （4） その他

委員名簿

R 6.1 0.4

九十九里町地域公共交通会議委員名簿

(敬称略)

区 分		所 属 ・ 職 名 等	氏 名	
1 号委員	1	千葉県 総合企画部 交通計画課 地域公共交通担当課長	伊 藤 昌 央	
	2	九十九里町副町長	藤 原 慎	
	3	九十九里町健康福祉課長	鶴 岡 正 美	
	4	九十九里町まちづくり課長	麻 生 雅 弘	
2 号委員	5	九十九里鐵道株式会社 バス部 総括次長	鳥 澤 裕 介	
	6	ちばフラワーバス株式会社 代表取締役社長	宇 野 正 洋	
	7	千葉県バス協会 専務理事	成 田 齊	
3 号委員	8	有限会社片貝タクシー 代表取締役社長	松 島 健 一	
	9	千葉県タクシー協会 東総支部 支部長	金 杉 幸 太 郎	
4 号委員	10	西の下自治区長 (自治区連絡協議会会長)	松 井 義 郎	
	11	真亀丘 1 自治区長	中 村 利 幸	
	12	真亀丘 2 自治区長	中 村 正 浩	
	13	作田丘自治区長	林 章	
	14	九十九里町社会福祉協議会事務局長	浅 岡 幸 子	
5 号委員	15	九十九里鐵道バス労働組合	宝 地 戸 祐 紀	
6 号委員	16	国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高 橋 直 人	
7 号委員	17	千葉県東金警察署 交通課長	森 田 雅 貴	
8 号委員	18	千葉県 県土整備部 山武土木事務所 次長	今 村 康 士	
	19	東日本旅客鉄道株式会社 茂原統括センター 大網駅長	椎 名 智 子	
	20	日本大学 理工学部 交通システム工学科 特任教授 博士(工学)	藤 井 敬 宏	
事務局		企画政策課長	羽 斗 伸 一	
		企画政策課長補佐	鈴 木 浩 之	
		企画政策課地域政策係長	山 田 昌 之	
		企画政策課地域政策係	大 森 一 平	

議事の要旨

	議事・意見等の内容・決定事項等
事務局	議事(1) 会長・副会長の選任について 《議事(1) 会長・副会長の選任について 九十九里町地域公共交通会議設置要綱第6条により、交通会議には会長及び副会長を置くこととなっております。また、同条第2項にて会長及び副会長は、委員の互選により定めることとなっております。今回、改めて委員の皆様にご就任いただきましたので、互選により会長及び副会長を選出していただければと思います。 委員の皆様から、質問・意見等はございますか。
林 委員	「事務局一任」
事務局	事務局案の方をこちらで提示をさせていただきます。 会長職につきましては引き続き「九十九里町藤原副町長」に、副会長職につきましても引き続き「林作田丘自治区長」にお願いしたいと存じます。
事務局	委員の皆様から、質問・意見等はございますか。
事務局	異議なしということで、本件は承認ということでよろしいでしょうか。 「承認」
事務局	会長職につきましては藤原、副会長については林区長にお願いいたします。 以降議事進行については、藤原会長が行う。

藤原会長	(2) タクシー利用助成の他地区への適用について 《議事(2) タクシー利用助成の他地区への適用について
事務局	議事(2) タクシー利用助成の他地区への適用について 事務局説明
藤原会長	委員の皆様から、質問・意見等はございますか。
松島委員	タクシー利用助成の他地区への適用について、全町民に配るといことですね。実際に使っている方からのご要望ですが、(現行のタクシー利用助成実証実験で) 病院に行く方が1番多いなかで、山武医療センター、東千葉メディカルセンターの検査に行くのに使えない。(町外の外出に使用できないので使えない) 全域になると荒生の佐藤医院に行く方も見込まれます。そこをなんとかしてもらわないと、タクシー事業者に苦情が多い。
事務局	これまでの実証実験の中でも同様のご意見、町民の皆様方アンケートでも、町外に使いたいというようなご要望がたくさんあることは、私たちも十分承知しております。一方で、タクシー利用だけでなくバス事業も守ることが私たちのスタンスがございます。 今ご指摘いただいたエリアにつきましては、バスでのアクセスが病院についてはある程度可能な場所にあるという考えもありますので、そこにつきましては、今後の利用の状況を踏まえ、皆様方の御意見をいただきながら検討を進めてまいりたいと考えております。
松島委員	あとは、(乗客から) 西野(町境)まで行って、1回メーターを切ってまた乗ればいいのかっていう質問があります。
事務局	あくまでタクシー利用助成は、町内だけになります。町の方のタクシー利用助成はそこで終わりということになれば、その先についてはご自身の判断になります。
松島委員	考慮して欲しい。

金杉委員	(実証実験で) 300 人近くが対象になっているが、申請者がたった 30~50 人って、申請者が少ない理由は何でしょうか。
事務局	過去の公共交通計画策定時のアンケート、あるいはタクシー利用助成のアンケートから、そもそも 75 歳以上の高齢者の方であっても、本当に日常的な移動に困難を感じている方は、大体 13 パーセント位と認識しております。75 歳以上の方が 100 人いらっしゃったら、13 人ぐらいの方が移動困難であると推測されます。理由として挙げられるのは、ご自身でまだ運転をされている方、免許返納してもご家族の方に日常的に乘せていってもらえるような方等が考えられます。本当に困ってらっしゃる方はおよそ 13 パーセントで、申請率から考えると概ね申請自体はされているというイメージです。一方で、制度の PR 不足の部分があるかもしれませんので、全域化を機に積極的に PR し、ご利用の希望のある方にはあまねくその情報が伝わりますように 努力したいというふうに考えてございます。 申請したけども使わない方というのはどういうご理由があるのかについては、助成金額を 1 万 2000 円から 2 万 4000 円に上げた時に利用率が増え、今年の 8 月に 1 回あたり 1000 円までだったものを上限外して、1 回あたり何枚チケット使ってもいいですよということにいたしました。そういったことで、少し改善を重ねてきております。とりあえずもらっておこうかという方も一定数いるという風には聞いてございます。
松島委員	障害者の方が今、町から 900 円の券をもらっているわけです。これはどこ行っても使えます。500 円と福祉券 900 円をもらっている方もいます。 900 円（福祉券）は、成東、山武に使えるのにこれ（タクシー利用助成）は、使えないというお声をいただく。その辺もよく考えてもらいたい。
社会福祉課長	利用については、あくまでも障害のある方というところです。どこであろうと使える件については、おっしゃった通りですが、そのところは事務局と考えていきたい。社会福祉課としては、そのまま使えるような形を活用していく考えでおります。

藤原会長	他にご意見等ございますか。 ご質問等いただきましたので、いただいたご意見を踏まえながら、今後、議案のとおり進めさせていきたいと考えております。 →（承認）
藤原会長	（３） 通学バス利用の促進について 《議事（３） 通学バス利用の促進について
事務局	（３） 通学バス利用の促進について 事務局説明
藤原会長	委員の皆様から、質問・意見等はございますか。
宇野委員	バス会社に関わる利用促進支援促進策ということで、需要が少しずつ減退していく中、少しでも利用促進につながる策はありがたいことですし、また、次世代の担う若者の支援策ということで、未来につながるものだと感じておりますので、とても良い提案だと感じてございます。１点、要望でございますけれども、せっかくいい案だと思いますので、本提案、ご決議いただいた暁には、その周知に向けて、１人でも多くの方がご利用いただけるように、みんなに知っていただけるように、ご協力いただきたい。また、１人でも多くの方がご利用いただけるように、手間の少ない、申請をしやすいような仕組みについて、引き続き我々どもともに研究させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたい。
事務局	ご案内の通り、この制度は、使っていただいて初めて価値が出るものという風に思います。私たちは、事務局として、まずバスに乗っていただく経験を多くの方にさせていただきたいというのが施策の１つの大きな目標としてあります。やはり、使ってみたことがない公共交通を使うというのはなかなかハードルが高いものだと思いますので、学生という若い時代からですね、バスに乗るという体験をしていただくための手法の１つとして、本施策は有効ではないかということと、さらに、子育て世代に優しい町というイメージを作る上でも、１つの効果がという風に考えてございます。今ご指摘いただきました周知の手法あるいは手続きの手法については、引き続きバス会社様と協議

金杉委員	を重ねさせていただきながら、最適なものになるよう努めてまいりたいと考えてございます。 予定として、どのぐらいの方がこれを利用する見込みですか。 寒い（季節的に）ですし、結構、親御さんが送迎されると、学校周辺大変混んでしまう。
事務局	現在の利用率ですと４パーセント程度だと思います。それを町としては１０パーセント程度まで引き上げられればと考えております。
藤原会長	（利用者）バスの方がバスに切り替えるか、あと、先ほど委員からもお話いただいた、送迎の方がまずこう切り替えてくれるというようなところも意図しているというところで、この５ページの資料にございますけれども、千葉市とか茂原市に通っているお子さんの方向ですとバスと鉄道を使って通っている方が多いかと思います。駅まで自転車って方もいらっしゃるかもしれないです。そういう意味で、バスと鉄道を使っての高校進学というのを視野に入れていただくような町づくりというのにも必要かなという風に思います。こちらは、この補助金をまずの最初の施策として、事業促進と、先ほど出ましたけれども、保護者の方の支援というところを考えたの施策だという風に考えております。
藤原会長	他にご意見等ございますか。 こちらにつきましてもご意見等なければ、通学バス利用の促進についてもご承認いただきたいと思います。 →（承認） 《 閉 会 》 以上で第３回九十九里町地域公共交通会議を閉会いたします。 以上